

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年2月20日

事業所名：あさごふれ愛の郷YOU・愛センター

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員及び活動に必要なスペースは十分確保されている	はい 23      どちらともいえない 1 いいえ 0      わからない 1 【意見】スペースは十分であると思います。	活動内容や個別支援に応じたスペースの使い方を工夫していく
	2 職員の適切な配置	保育士や児童指導員など適切な配置を行っている	はい 17      どちらともいえない 3 いいえ 0      わからない 5 【意見】専門性は・・・?	職員の専門性・資質を高める為の外部の研修に参加していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内のバリアフリー化は出来ているが、個別の環境整備については今後の課題である	はい 22      どちらともいえない 1 いいえ 0      わからない 2 【意見】設備などについてはよくわかりません。	個別の障がいの特性に応じた表示の仕方や設備の活用を工夫していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	用途に応じた部屋(静養室・勉強部屋・食堂・和室)がありスペースも十分である。	はい 25      どちらともいえない 0 いいえ 0      わからない 0 【意見】清潔でよい環境だと思います。	定期的な清掃を行い、清潔で快適な環境を今後も維持していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的な職員ミーティングを行い、職員間で検討し情報共有はできている。	/	PDCAサイクルに基づいた業務改善に務めていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は行っていない	/	必要に応じて法人内で検討していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1～2回の個別支援会議の実施や研修会参加において職員間機会均等化を図っている	/	引き続き内外の研修会等の積極的な参加を図っていく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	希望やニーズをしっかりお聞きし、個別支援会議において職員間で検討し、それに基づいて計画を作成している	はい 21      どちらともいえない 2 いいえ 0      わからない 2	今後も同様に行い充実を図っていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	障がいの特性や年齢に応じた支援を基に作成している	/	今後も適切な計画の作成をしていく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ご家族や関係機関と連携を図り、必要事項を選択し、分かりやすい支援内容の設定を心掛けている	はい 21      どちらともいえない 1 いいえ 0      わからない 3	今後ともご利用者の声に耳を傾け具体的な支援内容の充実を図っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	おおむね行われているが、職員間での徹底が必要である	はい 20 いいえ 0 どちらともいえない 1 わからない 4	職員間で個別支援計画を確認しあい徹底を図っていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	具体的なプログラムの立案には至っていない		今後立案に向けて検討していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個々の特性に応じた活動プログラムを提供し、休日や長期休暇においては集団で行う活動プログラムも取り入れている。		時間を有意義に使用しながらプログラムを充実させていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	平日は固定化しているが、休日や長期休暇では季節ごとの行事など工夫を行った	はい 12 いいえ 2 どちらともいえない 7 わからない 4 【意見】利用が少ないのでわからない。	調理実習や買い物訓練、外出など休日の活動プログラムを増やす
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員ミーティングを行い情報の共有をしている		職員間でミーティング内容の確認の徹底を行っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	急を要する場合は職員間で報告・連絡・相談を行い、また次の日の支援開始前のミーティングで振り返りと共有を図っている		今後も継続して行っていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々のケース入力、保護者の方と連絡票のやり取り、職員ミーティング時に行っている		支援の検証や改善の充実と継続に向けて取り組んでいく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半期ごとのモニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っている。		今後ご家族の要望をお聞きしながら、障がいの特性や発達段階に応じた計画の見直しを行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	管理者または児童発達支援管理責任者が参加している	今後も管理者または児童発達支援管理責任者が参加する
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	短時間の利用の為、連携した支援は行っていない	必要があれば行っていく
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	短時間の利用の為、連携体制の整備は行っていない	必要があれば行っていく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	行っていないが、相談員を通じて情報共有を行っている	関係機関との連携を図り、十分な情報共有を行っていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援事業所と連携を取りながら、障がい福祉サービス事業所にご利用者の情報等提供を行っている	今後も継続して行っていく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携はあるが十分ではなく、また研修受講の促進も出来ていない	必要に応じて連携を密にし、積極的に研修受講を図っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今のところは実施していない	今後の検討課題とする
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今のところは実施していない	今後の検討課題とする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明等を行い了解をいただいている。負担金等が発生した場合や、必要な支援がある場合においても説明を行っているが十分ではない。	はい 20 いいえ 0	どちらともいえない 2 わからない 3	その都度、保護者の理解が得られるよう丁寧な説明を行っていく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画作成時に説明を行っている	はい 20 いいえ 1	どちらともいえない 1 わからない 3	引き続き丁寧な説明を行っていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは行っていない	はい 7 いいえ 6	どちらともいえない 8 わからない 4	必要があれば今後の検討課題とする
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	現状は連絡票や送迎時に保護者とのやり取りで日々の変化を伝え合っている	はい 21 いいえ 0	どちらともいえない 3 わからない 1	引き続き保護者と連携していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	特別時間を設けてはいないが、送迎時や連絡票などでお聞きしたことに対して対応や助言を行っている	はい 16 いいえ 2	どちらともいえない 3 わからない 4	相談していただく機会を設けるよう、今後の検討課題とする
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の連携支援は設立されていない	はい 3 いいえ 5	どちらともいえない 5 わからない 12	必要であれば今後検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	法人内の第三者委員会を設立、また苦情受け付け窓口の設置について、契約時にご家族への説明を行っている	はい 16 いいえ 0	どちらともいえない 2 わからない 7	苦情等があれば、誠意を持って迅速かつ適切な対応を心がける
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	その都度わかりやすい方法で個々に配慮を行っている	はい 20 いいえ 0	どちらともいえない 1 わからない 4	引き続き不安な思いを与えないよう、情報伝達には十分配慮する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に簡単な発信はしているが、詳細な内容や活動報告は行っていない	はい 9 いいえ 1	どちらともいえない 7 わからない 8	会報やホームページなどで発信し、詳しい活動内容をお伝えしていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには契約時に説明等を行い、適切な対応を心がけている	はい 19 いいえ 0	どちらともいえない 1 わからない 5	個人情報の取り扱いには、継続して十分な対応をしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時及び感染症対応マニュアルにおいては、職員間で実習を行いながら徹底しているが、防犯マニュアルは作成していない	はい 13 いいえ 4      どちらともいえない 2 わからない 6	保護者へのマニュアルの周知や説明等実施する方向で行い、防犯マニュアルについては今後の検討課題とする
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員のみ避難訓練や消火訓練を実施している	はい 6 いいえ 0      どちらともいえない 4 わからない 15	今後の検討課題とする
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	全職員における研修機会の確保は不十分である		外部の研修があれば積極的に参加し、内部の研修実施を検討していく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今のところ該当者なし		必要に応じて慎重に対応していく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	ご家族からの申告により対応はしている		今後も引き続き対応していき、必要があれば医師の指示を仰ぐ
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告書の作成・共有は行っている		今後も仕事に取り組む姿勢として継続する